

文化芸術活動基盤強化基金 クリエイター等育成支援（コンテンツ制作・発信を支える中核的専門人材育成・確保等）

団体名	一般社団法人日本書籍出版協会
プロジェクト名	海外ブックフェアとポータルサイトを基軸とした「版權輸出産業人材」の育成

基本情報

対象分野	その他（文芸・マンガ等）	対象となる職種	国内出版社の海外ライツ担当者、翻訳家、国際出版コーディネーター
------	--------------	---------	---------------------------------

プロジェクトの概要（案）

日本の出版作品は欧米等で高い関心を集める一方、**能動的にセールスできる「版權輸出産業人材」と、海外からの問合せに一元対応する「国際出版コーディネーター」**が不在であり、機会損失を防ぐ人材育成が急務である。本プロジェクトは、これら2つの中核的専門人材を計65名規模で育成し、質と量の両面から人材不足を解消する。具体的には、海外ブックフェアでの実践（ON-JT）や座学（OFF-JT）、「国際出版サロン」の開催、版權ポータルサイトの構築等によるキュレーション・窓口機能の強化等を図り、育成ノウハウのマニュアル化や国際化を促進し、グローバルに活躍できる人材が業界内に定着するエコシステムを構築する。

具体的な人材ニーズ、またはニーズが生じる見込み

現在、文化庁が活字文化のグローバル展開推進協議会（以下、協議会）を設置し議論している中で、次のように課題が整理された。

- 出版業界では、作家の作品単位で権利が分散しているため、海外からの版權問合せ窓口機能が不在。
- 海外市場に向けた日本書籍のプロモーションやブランディング力が弱く、翻訳家や作家、出版社が交わる交流の場も不足。

本プロジェクトは、**協議会で課題提示された施策を具体的な実行に移す計画**であり、個社を横断した海外からの問合せに一元的に対応する「コンタクトデスク」の創設や、海外向けサイトでの情報発信、海外ブックフェアにおけるオールジャパンでのブース運営を牽引できる中核的専門人材を育成・確保するものである。

期待される成果や波及効果

- 1. 中核的専門人材の定着・キャリア形成**：国際版權営業スキルを持つ人材を育成し、自走的なセールスを実現。「国際出版コーディネーター」により機会損失を防ぎ、専門人材のキャリアの道筋を創出する。
- 2. 文化芸術活動の活性化と継続性**：海外ブックフェアへの共同出展や「国際出版サロン」創設でネットワークを構築。育成ノウハウのマニュアル化により、事業終了後も自走できる仕組みを生み出す。
- 3. 国際的プレゼンスの向上**：「版權輸出産業人材」による翻訳出版の促進や、機能拡張した版權ポータルサイトでの通年発信体制の整備を通じ、グローバルな評価形成と国際的プレゼンス向上に寄与する。

人材の育成・確保のための持続的な基盤の構築イメージ

持続的な基盤を形成するため、以下の取組を実施する。

- 研修内容をマニュアル化して組織に蓄積し、他業種からも参入できるよう**国際版權ビジネスの非属人化**を促す。
- 個社横断的な「コンタクトデスク」設置を見据え、属人的な**版權対応を専門職として確立**し、新たなキャリアパスを創出する。
- 「国際出版サロン」で国内外の出版関係者等が集う交流の場を継続提供し、**グローバル人材が業界内へ定着する仕組みを構築**する。
- 海外市場向けの版權ポータルサイトを構築し、専門コーディネーターが運用し、キュレーションを行い、個社を超えた発信体制を整える。

目標達成までのロードマップ（案）

1年目

基礎知識の習得と海外展開に向けた基盤構築

- 育成対象者を決定し、営業資料作成や世界の出版動向を学ぶ講義・研修を開始（OFF-JT）。
- ON-JTではロンドン・ブックフェア等でのオンライン実践や現地参加を通じた実地訓練を行う。
- 海外展開の基盤として、著作権ポータルサイトの構築に向けた仕様を固める。
- 「国際出版サロン」の設立イベントを開催し、翻訳家等との情報交換の場を設ける。

2年目

著作権ポータルサイトと主要ブックフェアでの実践的トレーニング

- 著作権ポータルサイトを構築し、本公開する。「コンタクトデスク」のトライアルを始める。
- 海外の主要ブックフェアに参加し、事前アポから商談まで実践する。コーディネーターは、ジャパンプース企画を主導し、著作権ポータルサイトでのキュレーションを行う。
- OFF-JTとして第4回～第9回講義を実施し、サロン会を基本3ヶ月に1回定期開催して情報交換の場として定着させる。

3年目

継続的な海外商談の実践と自走化に向けたエコシステム形成

- 複数の海外ブックフェアへ育成対象者を派遣し、継続的なON-JTを実施する。
- 著作権ポータルサイトを通じた一元化窓口機能・サービスの拡充、国際対応体制を強化。
- 全10回の講義内容を映像や資料として整理・マニュアル化し、成果物として配布。
- 将来的な「日本国際出版窓口」設立に向けて国内外の出版界へ周知と連携要請を行い、自走的な運営基盤へ繋げる。

実施体制（案）

●主幹団体・全体統括・海外ブックフェア主導

- ・ 一般社団法人日本書籍出版協会

●共同事務局運営・著作権ポータルサイトの構築主導

- ・ 特定非営利活動法人映像産業振興機構

●連携先：出版関連団体（※出版ジャンルを網羅）育成対象者の募集

- ・ 一般社団法人日本雑誌協会
- ・ 一般社団法人出版協会
- ・ 一般財団法人出版文化産業振興財団
- ・ 日本児童図書出版協会
- ・ コミック出版社の会
- ・ 一般社団法人日本国際児童図書評議会

●連携先：出版関連団体（データベース）
著作権ポータルサイトにおけるデータ連携等の検討

- ・ 一般社団法人日本出版インフラセンター

●連携先：政府機関
※海外ブックフェア・ネットワーキング

- ・ 独立行政法人国際交流基金
- ・ 独立行政法人日本貿易振興機構

●連携先：国際文化教育機関
※海外ネットワーキング構築

- ・ アンスティチュ・フランセ
- ・ プリティッシュ・カウンシル

●連携先：海外専門法人
※海外講師派遣協力

- ・ Mangas.io、Ku Consulting 等